

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年4月23日
【会社名】	株式会社ベクトル
【英訳名】	VECTOR INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 西江 肇司
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂四丁目15番1号
【電話番号】	03 - 5572 - 6080 (代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 山本 高太郎
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂四丁目15番1号
【電話番号】	03 - 5572 - 6080 (代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 山本 高太郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 当社の財政状態、経営成績及びキャッシュフローの状況に著しい影響を与える事象（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の規定に基づく報告）

（投資有価証券評価損の計上）

（1）当該事象の発生年月日

2019年4月12日

（2）当該事象の内容

当社が保有する投資有価証券のうち12銘柄について、投資先の経営成績及び財政状態の悪化により、投資有価証券評価損を営業外費用に計上いたしました。

（3）当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、2019年2月期の個別決算において、投資有価証券評価損636,628千円を営業外費用として計上いたしました。

（関係会社株式評価損の計上）

（1）当該事象の発生年月日

2019年4月12日

（2）当該事象の内容

当社の連結子会社である株式会社あしたのチーム及び株式会社スマートメディアについて、経営成績及び財政状態の悪化により、関係会社株式評価損を特別損失に計上いたしました。

（3）当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、2019年2月期の個別決算において、関係会社株式評価損2,085,687千円を特別損失として計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

2. 当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュフローの状況に著しい影響を与える事象（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づく報告）

（投資有価証券評価損の計上）

（1）当該事象の発生年月日

2019年4月12日

（2）当該事象の内容

当社及び当社の連結子会社2社が保有する投資有価証券のうち19銘柄について、投資先の経営成績及び財政状態の悪化により、投資有価証券評価損を営業外費用に計上いたしました。

（3）当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象により、2019年2月期の連結決算において、投資有価証券評価損730,680千円を営業外費用として計上いたしました。

（のれんの減損損失の計上）

（1）当該事象の発生年月日

2019年4月12日

（2）当該事象の内容

当社の連結子会社である株式会社あしたのチーム及び株式会社スマートメディアに係るのれんにつき、同社の経営成績及び財政状態の悪化により、減損損失を特別損失に計上いたしました。

また、当社の連結子会社である株式会社スマートメディアが保有するのれんについて、関連するメディアの超過収益力の低下により、減損損失を特別損失に計上いたしました。

（3）当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象により、2019年2月期の連結決算において、減損損失1,205,754千円を特別損失として計上いたしました。